

Japanese Journal of School Health

日本学校保健学会

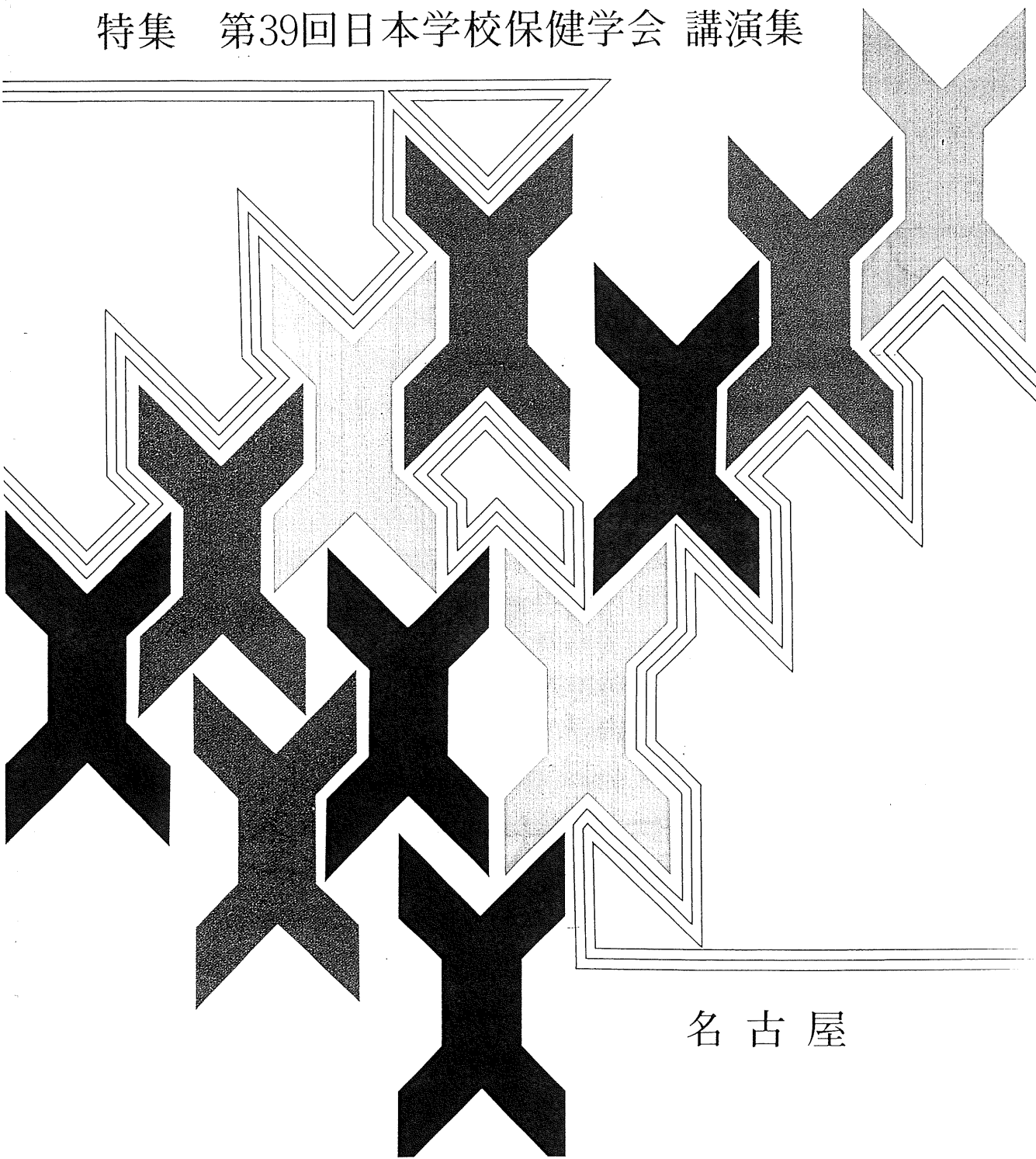
# 学校保健研究

ISSN 0386-9598

Vol. 34, Suppl.

1 9 9 2

特集 第39回日本学校保健学会 講演集



名古屋

## 2 D p 0 1

全国保健室利用者実態調査 (第1報)  
調査の目的・設計・基礎統計○高木廣文 (文部省統計数理研究所), 飯田澄美子, 櫻井しのぶ (聖路加看護大学),  
飯長喜一郎 (お茶の水女子大学), 出井美智子 (文部省体育局), 鎌田尚子 (女子栄養大学)全国調査 保健室  
養護教諭 相談活動

【はじめに】保健室に来室する児童生徒の中には、身体面のみ問題だけでなく、学習、友人関係、家庭事情など様々な訴えを持ち、相談を求めてくる者がみられる。また、頭痛、腹痛、不快、不定愁訴などの身体的症状を表面的には訴えながら、実際には内面的な心の問題を抱えている児童生徒の存在が指摘されている。保健室を利用する児童生徒の状態を、早期に総合的に状況判断し、適切な対応ができることは、児童生徒のもつ問題の早期かつ適切な解決につながる。この点から、最初の対応を行う養護教諭の役割は重要であり、相談活動を含めた保健室での活動の充実が求められている。しかし、児童生徒の保健室における相談活動の実態の状況は、必ずしも明確に把握されているものではない。我々は、日本学校保健会事業として(「保健室における相談活動に関する調査研究」, 委員長 飯田澄美子), 児童生徒の保健室利用の実態を把握することを目的に全国調査を実施した。本報告では、調査の基本的な設計や対象の概要について説明する。

【全国調査の目的と概要】保健室を訪れる児童生徒の実態を明らかにし、とくに主訴、症状要因等を分析し、養護教諭の行なう相談活動の充実を図ることを目的とした。調査時期および期間は、平成2年11月～12月中の特定の連続する6日間(日曜日を除く)を調査期間とした。ただし、祭日等で特定の曜日が抜けた場合には、別の週の同じ曜日で補うこととした。調査対象者としては、調査期間内に調査対象校(後述)の保健室に来室した児童生徒の全員とした。これには、(1)付き添いや友達仲間の付き合いで来室した児童生徒、(2)月例体重測定、グループ指導等で来室した児童生徒、の両者も含めることとした。さらに、保健室外で相談や個別指導を行った児童生徒も対象者に含めた。

調査は2種類の質問紙を用いた郵送法により実施した。調査対象校の特性を把握するための「学校基礎調査票」と、保健室を訪れた児童生徒の個人調査のための「保健室利用カード」の2種類である。前者は、1.学校所在地、2.校種別、3.学級数、4.児童生徒数、5.保健室に付随する相談室の有無、6.教育相談部の有無、7.心の問題を支援している事例、8.保健室登校の有無、に関する項目よりなっている。後者は、日時と来室理由を記入するようになっており、その裏面には「養護教諭の判断と処置・対応記録」として、来室した児童生徒への養護教諭の判断、処置・対応を記載するようにし、相談・指導などについての自由記載欄も設けた。

実際の全国調査では、まず調査対象校数を47都道府県別人口数、政令指定都市の有無及び学校総数から、(1)6巨大都市県(北海道、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡)、(2)4大都市県(宮城、京都、兵庫、広島)、(3)7中都市県(福島、茨城、埼玉、千葉、新潟、熊本、鹿児島)、(4)30一般県、の4区分に分類し、(1)からは小学校、中学校、高等学校を各15校、(2)からは各10校、(3)からは各7校、(4)からは各5校抽出することにした。表1-1に示したように、調査対象校数は小学校、中学校、高等学校ともに各329校、総計987校となった。なお、実際の調査校の選出は各都道府県教育委員会、各政令指定都市教育委員会に無作為に抽出するように依頼した。回答の得られた学校数は、小学校と高等学校は各328校であり、回収率は99.7%、中学校は329校で100%であり、全体では987校中985校、99.8%の高率の回収率であり、ほぼ当初の設定通りの資料が収集された。

【在籍数と保健室利用者数】表1-2に、調査対象校の校種別の在籍児童生徒数を示した。小学校では男91,735人、女86,725人、計178,460人であり、中学校では男103,093人、女96,664人、計199,757人であった。高等学校では男174,273人、女166,507人、計340,780人であった。このうち、調査期間である6日間に保健室を利用した人数を表1-3に示した。1校1日あたりの保健室利用者数は、小学校28.7(人/校日)、中学校31.3、高等学校31.7、全体では30.6となった。また、児童生徒千人1日あたりの利用者数を求めると、表1-4のように、小学校の男37.0(人/千人日)、女36.1、計36.5となった。中学校では、男47.5、女55.3、計51.5であり、高等学校では、男27.9、女33.1、計30.5であった。単位人日あたりでみると保健室利用者の頻度は小学校が最も高く、中学校もほぼ同率であり、高等学校が最も低くなっていた。また、男女比は、女子が男子よりも高率であり、小学校1.8(女/男)、中学校1.2、高等学校1.2となっていた。来室理由として小学校では「かかり・とうばん」、中学校・高等学校では「委員会活動」とした場合を除いて、単位人日あたりの利用者数を求めると、小学校では男28.0(人/千人日)、女27.9、計27.9であり、中学校では、男43.5、女47.5、計45.4であった。高等学校では男26.8、女31.2、計28.9となった。この結果では、単位人日あたりでは、中学校での保健室利用が最も高率であり、次が小学校、高等学校は最低であった。男女比は、小学校1.7(女/男)、中学校1.1、高等学校1.2となっており、先の結果と同様に小学校で女子が男子に比べて高率であった。

表1-1 校種別調査対象校数

|        | 小学校  | 中学校   | 高等学校 | 計    |
|--------|------|-------|------|------|
| 調査対象校  | 329  | 329   | 329  | 987  |
| 回答校数   | 328  | 329   | 328  | 985  |
| 回答率(%) | 99.7 | 100.0 | 99.7 | 99.8 |

表1-2 校種別性別在籍児童生徒数

| 校種   | 性別 | 1,2年    | 3,4年    | 5,6年    | 計       |
|------|----|---------|---------|---------|---------|
|      |    | 人数      | 人数      | 人数      | 人数      |
| 小学校  | 男  | 29,419  | 29,883  | 32,433  | 91,735  |
|      | 女  | 27,796  | 28,263  | 30,666  | 86,725  |
|      | 計  | 57,215  | 58,146  | 63,099  | 178,460 |
| 中学校  | 男  | 33,156  | 34,237  | 35,700  | 103,093 |
|      | 女  | 31,125  | 32,044  | 33,495  | 96,664  |
|      | 計  | 64,281  | 66,281  | 69,195  | 199,757 |
| 高等学校 | 男  | 57,944  | 58,324  | 58,005  | 174,273 |
|      | 女  | 55,336  | 56,048  | 55,123  | 166,507 |
|      | 計  | 113,280 | 114,372 | 113,128 | 340,780 |

総計：男369,101人、女349,896人、計718,997人。

表1-3 校種別性別学年別保健室利用者数

| 校種   | 性別 | 1,2年(%)      | 3,4年(%)      | 5,6年(%)      | 不明(%)      | 合計(%)         |
|------|----|--------------|--------------|--------------|------------|---------------|
|      |    | 人数           | 人数           | 人数           | 人数         | 人数            |
| 小学校  | 男  | 5,589(9.9)   | 5,803(10.3)  | 8,934(15.8)  | 30(0.1)    | 20,356(36.0)  |
|      | 女  | 8,080(14.3)  | 9,441(16.7)  | 16,824(29.8) | 37(0.1)    | 34,382(60.8)  |
|      | 不明 | 315(0.6)     | 508(0.9)     | 920(1.6)     | 47(0.1)    | 1,790(3.2)    |
|      | 合計 | 13,984(24.7) | 15,752(27.9) | 26,678(47.2) | 114(0.2)   | 56,528(100.0) |
| 中学校  | 男  | 5,254(8.5)   | 9,010(14.6)  | 14,660(23.8) | 453(0.7)   | 29,377(47.6)  |
|      | 女  | 7,067(11.5)  | 10,606(17.2) | 13,821(22.4) | 602(1.0)   | 32,096(52.0)  |
|      | 不明 | 37(0.1)      | 61(0.1)      | 77(0.1)      | 43(0.1)    | 218(0.4)      |
|      | 合計 | 12,358(20.0) | 19,677(31.9) | 28,558(46.3) | 1,098(1.8) | 61,691(100.0) |
| 高等学校 | 男  | 8,043(12.9)  | 9,648(15.5)  | 11,450(18.4) | 39(0.1)    | 29,180(46.8)  |
|      | 女  | 10,001(16.0) | 11,288(18.1) | 11,716(18.8) | 46(0.1)    | 33,051(53.0)  |
|      | 不明 | 34(0.1)      | 51(0.1)      | 48(0.1)      | 29(0.0)    | 162(0.3)      |
|      | 合計 | 18,078(29.0) | 20,987(33.6) | 23,214(37.2) | 114(0.2)   | 62,393(100.0) |

総計：男78,913人、女99,529人、性別不明2,170人、計180,612人。

表1-4 校種別児童生徒千人1日あたり保健室利用者数

| 校種   | 男          | 女          | 計          | 女/男      |
|------|------------|------------|------------|----------|
| 小学校  | 37.0(28.0) | 66.1(47.9) | 52.8(37.7) | 1.8(1.7) |
| 中学校  | 47.5(43.5) | 55.3(47.5) | 51.5(45.4) | 1.2(1.1) |
| 高等学校 | 27.9(26.8) | 33.1(31.2) | 30.5(28.9) | 1.2(1.2) |

( )内は「かかり・とうばん」, 「委員会活動」を理由とした場合を除いて算出。

## 2Dp02

全国保健室利用者実態調査（第2報）  
— 公立小学校の結果 —全国調査 保健室  
養護教諭 相談活動○櫻井しのぶ（聖路加看護大学）、高木廣文（文部省統計数理研究所）、  
飯田澄美子（聖路加看護大学）、飯長喜一郎（お茶の水女子大学）、  
出井美智子（文部省体育局）、鎌田尚子（女子栄養大学）

学校基礎調査表の結果 全国公立小学校24,608校中328校（1.3%）の学校、小学生9,496,553名中178,460（1.9%）の児童を対象としている。人口50万以上の市に所在している小学校は328校中67校（20.4%）人口50万未満の市に所在しているのは154校（47.0%）、町村に所在しているのは99校（30.2%）である。児童数が400人以上700人未満の小学校が全体の約50%を占めている。保健室に付随する相談室あるいは相談コーナーがある学校は114校（34.8%）であり、教育相談部のある学校は約半数の167校（50.9%）である。その中で、養護教諭が教育相談部に所属しているのは108校（64.7%）である。調査時に心の問題を支援している事例を持つ小学校は150校（46.2%）で、支援事例の数は圧倒的に1、2例が多く全体の3分の2を占めている。また、保健室登校がある小学校は、23校（7.1%）であり、事例数は1例が大半を占めている。

（保健室登校とは、常時保健室にいるか、特定の授業には出席できても学校にいる間は主として保健室にいる状態をいう。）

## 保健室利用者調査の結果

（1）保健室利用者数 回答328校の1週間の保健室利用者数は第1報の表1-3に示すとおり56,528人であり、1校あたり1日の利用者数の平均は28.7人である。1・2年生、3・4年よりも5・6年生に利用者が多く、いずれの学年においても女子の方が男子に比べて多い。

（2）来室理由 保健室に入ってきた児童の来室理由は表2-1の通りであるが、多い順に、係・当番（25.9%）、けが・鼻血（21.4%）、付添い（19.1%）、気持ち悪い・痛い（12.2%）である。なお、お話と「先生あのね聞いて」を合わせると5.2%になる。5・6年になると、話をすることを理由に来室する児童が他の学年に比べると多くなる。

（3）養護教諭の判断と処置及び対応 保健室へ来室した者の内、ある程度時間をかけて対応する必要があると養護教諭が判断したものは全体の来室者の半数であり、これらの事例に対して、養護教諭が何が必要か判断した内容については、救急処置が全体の67.8%にあたり、そのうち最も多いものが外科処置59.1%であり、特に男子に多い。次いで、頭痛、風邪、胃腸症状と内科的訴えが続くが不定愁訴と判断されたものは3.1%であった。つぎに相談の必要ありと判断されたものは全体の12.0%であった。5・6年に多くみられる。その内容としては、発育・健康状態の相談が最も多く（42.6%）学校生活（11.4%）、友人関係（10.2%）、と続く。その他、漠然とした悩み、家族・家庭、児童会活動、クラブ・部活も多く、多岐に渡っている。学年別では5・6年で発育・健康状態が減り、児童会活動とクラブ・部活の増えるのが特徴的である。また、指導・連絡が必要と判断されたものは全体の43.8%で、やはり、5・6年生医が約半数を占める。内容は、保健指導（44.6%）委員会（25.6%）連絡（19.7%）が次ぐ。養護教諭が以上述べたような判断に基づいて、処置対応をどの様に行ったかは表2-2に示すとおりである。小学校では、処置が48.8%と最も多く、ついで保健・安全指導（31.0%）連絡・打ち合せ（13.8%）、休養（11.0%）と続いている。相談援助活動は、全体の6.7%であった。そのほかに、相談援助の必要性を認めつつも実施できなかったケースが358あった。小学校の特徴として、学年が上がるにしたがって、外科的処置、休養、家庭連絡は少なくなり、代わって、連絡打ち合せと相談・援助活動が増える。

男子に対しては外科的処置が多く、女子に関しては相談・指導的対応が必要とされる傾向にある。また、5・6年生になると明らかにそれ以前の学年と比べて、処置対応の内容が変化し、相談的対応が求められていると思われる。

表2-1. 来室理由—合計・性別

| 順位          | 項目            | 合計(%)         | 性別            |               |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|             |               |               | 小男(%)         | 小女(%)         |
| 小<br>学<br>校 | 1. かかり・とうぼん   | 14,573(25.9)  | 4,846(23.9)   | 9,310(27.2)   |
|             | 2. けがやばなちのあて  | 12,010(21.4)  | 5,481(27.0)   | 6,204(18.1)   |
|             | 3. 付添い・ついてきた  | 10,760(19.1)  | 3,279(16.2)   | 7,168(20.9)   |
|             | 4. 気持ち悪い・痛い   | 6,874(12.2)   | 2,429(12.0)   | 4,262(12.5)   |
|             | 5. 連絡・用があって   | 2,616(4.7)    | 805(4.5)      | 1,657(4.8)    |
|             | 6. お話・おしゃべり   | 2,045(3.6)    | 558(2.8)      | 1,446(4.2)    |
|             | 7. はからせて      | 1,080(1.9)    | 378(1.9)      | 664(1.9)      |
|             | 8. 先生あのね聞いて   | 893(1.6)      | 280(1.4)      | 594(1.7)      |
|             | 9. よばれたから     | 885(1.6)      | 324(1.5)      | 379(1.1)      |
|             | 10. おみまい      | 738(1.3)      | 263(1.3)      | 443(1.3)      |
|             | 11. かして・みせて   | 499(0.9)      | 165(0.8)      | 312(0.9)      |
|             | 12. くすりほしい    | 286(0.5)      | 75(0.4)       | 200(0.5)      |
|             | 13. ねたい・やすみたい | 235(0.4)      | 84(0.5)       | 139(0.4)      |
|             | その他           | 2,718(4.8)    | 1,183(5.9)    | 1,438(4.2)    |
| 合 計         |               | 56,202(100.0) | 20,265(100.0) | 34,216(100.0) |

表2-2. 養護教諭の処置と対応—合計・性別（全体：多項目選択）

| 順位          | 項目            | 合計(%)         | 性別            |               |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|             |               |               | 小男(%)         | 小女(%)         |
| 小<br>学<br>校 | 1. 処置         | 14,423(48.8)  | 6,275(54.2)   | 7,757(45.6)   |
|             | 2. 保健安全指導     | 9,153(31.0)   | 3,725(32.2)   | 5,253(30.9)   |
|             | 3. 連絡打ち合せ     | 4,075(13.8)   | 1,436(12.4)   | 2,536(14.9)   |
|             | 4. 休養         | 3,243(11.0)   | 1,224(10.6)   | 1,946(11.4)   |
|             | 5. 相談・援助      | 1,874(6.7)    | 605(5.2)      | 1,156(6.8)    |
|             | 6. 家庭連絡       | 1,943(6.8)    | 894(7.7)      | 1,005(5.9)    |
|             | 7. 受診指導       | 1,031(3.5)    | 442(3.8)      | 563(3.3)      |
|             | 8. 早退         | 846(2.9)      | 377(3.3)      | 457(2.7)      |
|             | 9. 生徒指導       | 509(1.7)      | 267(2.3)      | 229(1.3)      |
|             | 10. 相談必要／実施せず | 358(1.2)      | 151(1.3)      | 199(1.2)      |
|             | 11. 授業        | 306(1.0)      | 178(1.5)      | 160(0.9)      |
|             | 12. 見学        | 283(1.0)      | 95(0.8)       | 182(1.1)      |
|             | 13. 病院移送      | 169(0.6)      | 89(0.9)       | 63(0.4)       |
|             | その他           | 2,158(7.3)    | 755(6.5)      | 1,359(8.0)    |
| 記録の必要者数     |               | 29,541(100.0) | 11,586(100.0) | 17,006(100.0) |

## 2Dp03 全国保健室利用者実態調査（第3報）

## 公立中学校の結果

全国調査  
養護教諭

保健室  
相談活動

○出井美智子（文部省体育局）、高木廣文（文部省統計数理研究所）、  
飯長喜一郎（お茶の水女子大学）、飯田道美子・櫻井しのぶ（聖路加看護大学）、  
鎌田尚子（女子栄養大学）、嵐山初枝（前橋育学校）

## 1) 学校基礎調査の結果

全国公立中学校11,264校中325校（2.9%）の学校、中学生5,619,297人中199,757人（3.6%）の生徒を対象とした。このうち、人口50万人以上の市に所在している中学校は71校（21.6%）、50万未満の市に所在している学校は141校（42.9%）、町村に所在している学校は108校（32.8%）である。学校規模は600人台が最も多く、400～700人の学校が全体の56%を占めている。保健室に付随する相談室あるいは相談コーナーのある学校は、113校（34.3%）で、教育相談部のある学校は227校（69.6%）である。その中で養護教諭が教育相談部に所属しているのは97校（20.5%）である。調査時点で心の問題をもっている生徒を支援している学校は234校（72.4%）で大規模校になるほど多い。保健室登校をしている生徒のいる学校は75校（23.2%）で約4校に1校が保健室登校者を抱えている。その中で50校（67.6%）が1例であるが、16校（21.6%）2例、6校（8.1%）が3例、4例、5例もそれぞれ1例ある。

## 2) 保健室利用者調査の結果

（1）保健室利用者数 調査329校1週間の保健室利用者数は第1報表1～3に示したように61,691人であり、1日平均31.3人である。学年が進むにつれ多くなり、各学年とも女子は男子より多い。来室時間は休み時間（51.9%）が半数を占め、昼休み・給食（17.2%）を加えると69.6%になる。

（2）来室理由 来室理由は表3-1の通り、多い順に体調悪い・痛みが強い（20.4%）、付き合い付き添い（19.3%）、出血やけがの処置（13.4%）である。情緒の安定を求めて来ると思われるおしゃべり、なんとなく、困ったことあり聞いてほしいと12.4%になり来室者の8人に1人にあたる。3年生では17.3%と多くなり、来室者の6人に1人にあたる。けがの処置、身体計測、なんとなくは男子に多い。

（3）養護教諭の判断と処置・対応 来室者の訴えを聞いて、養護教諭がある程度時間をかけて対応する必要があるとしたものは全体の半数強（54%）である。その中で養護教諭が何が必要か判断し、それに基づいて処置・対応をした。その判断の内容は救急処置が最も多く66.0%、指導・連絡が46.3%、相談が20.1%、その他が5.3%であった。救急処置と判断された21,353人の内訳は外科的処置が38.3%で特に男子に多い。次いで胃腸症状16.3%、かぜ16.0%、頭痛11.5%、不定愁訴5.1%である。相談と判断された5,514人の内訳は発達・健康状態が39.1%、友人関係11.4%でこれは特に女子が多く、次いで学校生活10.2%、学習・学業7.7%、進路6.7%である。指導・連絡と判断された14,980人の内訳は、保健指導50.9%、委員会18.4%で女子が男子の2倍多く、生徒指導12.0%は男子が多く、連絡は11.9%である。出血やけが、体調悪い・痛みが強い、薬がほしい、休養したいといった身体的な訴え21,792人のうち相談が必要と判断されたのは3394ケース（15.6%）であった。

養護教諭の行った処置・対応は処置が最も多く（34.8%）、次いで保健安全指導（33.7%）、休養（15.2%）、相談・援助（12.3%）、連絡・打ち合わせ（12.1%）と続く。性別では、処置、保健安全指導、生徒指導が男子に多く、休養、相談・援助、連絡・打ち合わせは女子が多い。

表3-1. 来室理由-合計・性別

| 順位          | 項目             | 合計(%)         | 性別            |               |
|-------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
|             |                |               | 中男(%)         | 中女(%)         |
| 中<br>学<br>校 | 1. 体調悪い・痛みが強い  | 12,348(20.4)  | 5,867(20.3)   | 6,481(20.5)   |
|             | 2. 友達につきあい付添い  | 11,662(19.3)  | 4,872(16.9)   | 6,790(21.5)   |
|             | 3. 出血やけがの処置    | 8,081(13.4)   | 4,546(15.7)   | 3,535(11.2)   |
|             | 4. 委員会活動       | 5,843(9.7)    | 1,900(6.6)    | 3,943(12.5)   |
|             | 5. 身長・体重・視力測定  | 4,720(7.8)    | 3,129(10.8)   | 1,591(5.0)    |
|             | 6. 仲間や先生とおしゃべり | 3,402(5.6)    | 1,479(5.1)    | 1,923(6.1)    |
|             | 7. なんとなく       | 3,315(5.5)    | 1,985(6.9)    | 1,330(4.2)    |
|             | 8. お見舞い        | 1,329(2.2)    | 474(1.6)      | 855(2.7)      |
|             | 9. 爪切・体温手洗うがい  | 1,322(2.2)    | 617(2.1)      | 705(2.2)      |
|             | 10. 連絡・打ち合わせ   | 975(1.6)      | 377(1.3)      | 598(1.8)      |
|             | 11. 薬がほしい      | 972(1.6)      | 529(1.8)      | 443(1.4)      |
|             | 12. 呼ばれたから     | 804(1.3)      | 433(1.5)      | 369(1.2)      |
|             | 13. 困った事あり聞いて  | 790(1.3)      | 236(0.8)      | 554(1.8)      |
|             | 14. 休養したい      | 678(1.1)      | 377(1.3)      | 301(1.0)      |
|             | 15. 自習や時間待ち    | 344(0.6)      | 196(0.7)      | 148(0.4)      |
|             | 16. 資料や本を見る    | 320(0.5)      | 168(0.6)      | 152(0.5)      |
|             | その他            | 3,600(5.9)    | 1,627(5.6)    | 1,973(6.2)    |
| 合 計         |                | 60,505(100.0) | 28,812(100.0) | 31,693(100.0) |

表3-2. 養護教諭の処置と対応-合計・性別（全体：多項目選択）

| 順位          | 項目                | 合計(%)         | 性別            |               |
|-------------|-------------------|---------------|---------------|---------------|
|             |                   |               | 中男(%)         | 中女(%)         |
| 中<br>学<br>校 | 1. 処置             | 11,249(34.8)  | 6,097(38.8)   | 5,144(31.1)   |
|             | 2. 保健安全指導         | 10,897(33.7)  | 5,607(35.7)   | 5,290(31.9)   |
|             | 3. 休養             | 4,931(15.2)   | 2,144(13.6)   | 2,787(16.8)   |
|             | 4. 相談・援助          | 3,976(12.3)   | 1,730(11.0)   | 2,246(13.5)   |
|             | 5. 連絡打ち合わせ        | 3,921(12.1)   | 1,671(10.6)   | 2,250(13.5)   |
|             | 6. 生徒指導           | 2,328(7.2)    | 1,366(8.7)    | 962(5.7)      |
|             | 7. 受診指導           | 2,162(6.7)    | 1,104(7.0)    | 1,058(6.4)    |
|             | 8. 授業             | 1,583(4.9)    | 887(5.6)      | 696(4.2)      |
|             | 9. 早退             | 1,577(4.9)    | 741(4.7)      | 836(5.1)      |
|             | 10. 家庭連絡          | 1,382(4.3)    | 711(4.5)      | 671(4.1)      |
|             | 11. 相談必要／<br>実施せず | 1,042(3.2)    | 523(3.3)      | 519(3.1)      |
|             | 12. 見学            | 431(1.3)      | 185(1.2)      | 246(1.5)      |
|             | 13. 病院移送          | 260(0.8)      | 182(1.2)      | 78(0.5)       |
|             | その他               | 2,498(7.7)    | 1,193(7.6)    | 1,299(7.8)    |
| 記録の必要者数     |                   | 32,339(100.0) | 15,727(100.0) | 16,612(100.0) |

## 2 D p 0 4 全国保健室利用者実態調査（第4報）

## 公立高等学校の結果

全国調査  
養護教諭保健室  
相談活動○鎌田尚子（女子栄養大学）、高木廣文（文部省統計数理研究所）、飯長喜一郎（お茶の水女子大学）  
飯田澄美子、櫻井しのぶ（聖路加看護大学）、出井美智子（文部省体育局）、安藤悦子（大宮北高等学校）

## 1. 学校基礎調査の結果（学校対象）

全国公立高校4183校中329校（7.9%）の学校、高校生4,030,091名中340,780（8.5%）の生徒を対象としている。全国的に平均した結果、人口50万以上の市からは、59校（18%）であり、市163校（49.7%）、町村90校（27.4%）の結果である。規模は生徒数1000人以上の学校が高校全体の59.7%を占める。

保健室に付随する相談室あるいはコーナーがある高校は、122校（37.2%）である。教育相談部のある高校は、215校（65.5%）、そのうち養護教諭が教育相談部に所属している高校は、129校（60%）である。調査時点において、心の問題の事例を持つ高校は、小規模（700未満）46校（63.0%）、中規模（700-1300未満）97校（67.4%）、大規模（1300以上）83校（80.6%）であり、大規模校に多い。支援事例の数は、4例から9例（30.3%）が最も多く、学校規模別では大規模校に多くなる傾向である。保健室登校がある高校は、26校（8.1%）であり、1-2例が多いが、3例も一校ある。規模別では、小規模7校（9.6%）、中規模9校（6.3%）、大規模10校（9.7%）である。

## 2. 保健室利用の実態調査結果

（1）保健室利用の実態： 一日平均利用者は31.7人（第1報：表1-3）であり、学年が進むと利用数は増える傾向にある。1,2年は女子が多く、3年はほぼ男女同数である。来室時間は休み時間・昼休み（65%）に集中し、1,2年は放課後（12.8%）、3年は授業中の利用がある。

（2）来室理由： 保健室利用カードに生徒が記入した理由の多い順は、体調悪い（24.4%）、付添い（18.7%）、けがの処置（11.4%）である。情緒の安定を求める来室と考えられるお喋り、なんとなく、困った事あり聞いてを合わせると8.4%になり、来室者の11人に1人の割合である。この情緒不安の例数は学年が上がると増し、3年生では12.4%（1年生は6.1%）になる。爪切り・体温・身つくり、が相談のきっかけとなる場合も多い。これを合わせると7,767（12.5%）である。男子13.3%、女子11.8%と男子がやや多い。性差でみると付添いが女子に多く（男15.1%、女21.8%）、お見舞い（男0.9%、女3.8%）も女子が多い。けがの処置（男13.7%、女9.4%）、測定（男8.5%、女4.3%）、身長・体重・視力の測定（男8.5%、女4.3%）は、男子に多い。（表4-1）

## （3）来室理由に対する養護教諭の判断、対応、処置の記録

主訴に対し養護教諭がある程度時間をかけて対応する必要があると判断した事例に対して、判断、対応、処置を記入する。「記録の必要有」とされたものは、35,899人（58.0%）である。学年差はなく、男子60.4%、女子55.9%と男子がやや多い。【判断の項目】は重複しているが、救急処置は、71.8%、相談が20.6%、指導や連絡が42.7%、その他が4.7%であった。《救急処置》と判断された25,806人の内訳は、処置28.0%、胃腸症状24.4%、かぜ18.9%、頭痛7.5%、不定愁訴4.2%、発熱、眼科、疲労、歯科、アレルギー、耳鼻科の順である。次に、《相談》と判断された7,380人の内訳は、発育・健康状態48.6%、進路7.7%、学校生活6.4%、学業・学習6.4%、友人関係5.0%、部活、異性関係、漠然とした悩み、家族家庭、バイトの順である。次に、《指導・連絡》と判断された15,313人の内訳は、保健指導61.7%、委員会11.6%、生徒指導3.6%、連絡・届・証明17.5%の順である。これらの判断に従って実施された【処置対応】（表4-2）は、多い順から、保健安全指導13,048（36.3%）、処置（27.8%）、休養（20.7%）、授業（13.1%）、相談・援助（11.3%）、相談必要／実施せず（2.9%）、生徒指導（3.0%）、連絡・打合せ（9.1%）、病院受診・早退・家庭連絡（17.4%）、その他（10.2%）であり、学年が上がると授業や相談・援助が増加し、1年は保健指導が多い。女子に高いのは、休養であり、男子は外科的処置と授業・相談が高い。

3. まとめ： ①生徒の来室理由「救急処置」（42%）と記録必要58%のうち72%である「救急処置」の養護教諭の判断（41.8%）とは一致し、42%は高校の集団における救急処置出現率の目安と考えられる。②表4-2より高校の処置対応には、授業、休養、受診が小・中学校に比較して多い。重症例が多いこと、問題の複雑化、重さに加えて高校の単位制、欠時数が進級に影響するためと考えられる。学習、進路、家庭や交友の人間関係等のストレスからの心因反応、身体症状の緩和に対して、相談、授業、休養等の予防的、自立や発達教育的な相談・援助活動が様々な展開されていることを示唆する。③相談・援助を必要とした14.2%は、初期対応のレベルであり、内容は多岐にわたるが、発育・健康状態の主訴（ニーズ）を最大の窓口としている点に保健室相談の特長がある。

表4-1. 来室理由－合計・性別

| 順位               | 項目             | 合計(%)         | 性<br>高男(%)    | 別<br>高女(%)    |
|------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 高<br>等<br>学<br>校 | 1. 体調悪い・痛み苦しい  | 15,169(24.4)  | 7,236(24.9)   | 7,915(24.0)   |
|                  | 2. 友達につきあい付添い  | 11,622(18.7)  | 4,399(15.1)   | 7,196(21.8)   |
|                  | 3. 出血やけがの処置    | 7,080(11.4)   | 3,986(13.7)   | 3,090(9.4)    |
|                  | 4. 身長・体重・視力測定  | 3,919(6.3)    | 2,485(8.5)    | 1,426(4.3)    |
|                  | 5. 委員会活動       | 2,961(4.8)    | 1,140(3.9)    | 1,815(5.5)    |
|                  | 6. 仲間や先生とお喋り   | 2,599(4.2)    | 1,317(4.5)    | 1,280(3.9)    |
|                  | 7. 妻がほしい       | 2,479(4.0)    | 1,265(4.3)    | 1,212(3.7)    |
|                  | 8. なんとなく       | 2,114(3.4)    | 1,271(4.4)    | 840(2.5)      |
|                  | 9. 爪切り・体温手洗うがい | 1,959(3.1)    | 913(3.1)      | 1,043(3.2)    |
|                  | 10. お見舞い       | 1,528(2.5)    | 256(0.9)      | 1,265(3.8)    |
|                  | 11. 休養したい      | 1,361(2.2)    | 634(2.2)      | 724(2.2)      |
|                  | 12. 呼ばれたから     | 1,275(2.1)    | 700(2.4)      | 573(1.7)      |
|                  | 13. 連絡、打ち合せ    | 1,185(1.9)    | 551(1.9)      | 633(1.9)      |
|                  | 14. 困った事あり聞いて  | 1,095(1.8)    | 358(1.2)      | 736(2.2)      |
|                  | 15. 自習や時間待ち    | 668(1.1)      | 348(1.2)      | 319(1.0)      |
|                  | 16. 資料や本を見る    | 341(0.5)      | 105(0.4)      | 236(0.7)      |
|                  | その他            | 4,837(7.8)    | 2,148(7.4)    | 2,672(8.1)    |
| 合 計              |                | 62,192(100.0) | 29,112(100.0) | 32,975(100.0) |

表4-2. 養護教諭の処置と対応－合計・性別（全体：多項目選択）

| 順位               | 項目            | 合計(%)         | 性<br>高男(%)    | 別<br>高女(%)    |
|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 高<br>等<br>学<br>校 | 1. 保健安全指導     | 13,048(36.3)  | 6,611(37.8)   | 6,420(35.0)   |
|                  | 2. 処置         | 9,974(27.8)   | 5,365(30.7)   | 4,598(25.1)   |
|                  | 3. 休養         | 7,432(20.7)   | 2,777(15.9)   | 4,643(25.3)   |
|                  | 4. 授業         | 4,685(13.1)   | 2,499(14.3)   | 2,179(11.9)   |
|                  | 5. 相談・援助      | 4,071(11.3)   | 1,706(10.3)   | 1,249(6.8)    |
|                  | 6. 連絡打合せ      | 3,258(9.1)    | 1,458(8.3)    | 1,800(9.8)    |
|                  | 7. 受診指導       | 3,208(8.9)    | 1,628(9.3)    | 1,578(8.6)    |
|                  | 8. 早退         | 1,823(5.1)    | 924(5.3)      | 895(4.9)      |
|                  | 9. 生徒指導       | 1,089(3.0)    | 705(4.0)      | 372(2.0)      |
|                  | 10. 相談必要／実施せず | 1,054(2.9)    | 575(3.3)      | 478(2.6)      |
|                  | 11. 家庭連絡      | 575(1.6)      | 277(1.6)      | 296(1.6)      |
|                  | 12. 見学        | 390(1.1)      | 204(1.2)      | 185(1.0)      |
|                  | 13. 病院移送      | 258(0.7)      | 161(0.9)      | 96(0.5)       |
|                  | その他           | 3,656(10.2)   | 1,910(10.9)   | 1,738(9.5)    |
| 記録の必要者数          |               | 35,899(100.0) | 17,503(100.0) | 18,342(100.0) |

## 2 D p 0 5

全国保健室利用者実態調査 (第5報)  
まとめ全国調査、保健室  
養護教諭、相談活動○飯長喜一郎(お茶の水女子大学)、高木廣文(文部省統計数  
理研究所)、飯田澄美子、櫻井しのぶ(聖路加看護大学)、  
出井美智子(文部省体育局)、鎌田尚子(女子栄養大学)

はじめに

本調査は、我が国初の全国規模の保健室利用者実態調査であり、公立小学校、中学校、高等学校合計985校から資料を得た。11月から12月という保健室利用者が最も少ないと言われる時期に調査が実施されたが、1校当たりの保健室利用者は校種を問わず約30名であった。保健室登校は、小学校の7.1%、高等学校の8.1%に見られたが、中学校では23.2%の学校に見られた。また、中学校、高等学校では相談的対応が必要とされるケースの増えることが分かった。以下、主として相談的対応に関して、校種別の傾向を報告する。

## 1) 来室理由(第2報表2-1、第3報表3-1、第4報表4-1)

来室理由としては、小学校では外傷が多く中学校、高等学校ではやや減少する。体調が悪いという訴えは増加する。各校種内で学年が上がると、気分転換や情緒の安定を求めている来室が増える。

## 2) 記録必要ケースの内訳(表5-1)

記録必要ケースの約7割が救急処置のケースと判断された。校種が上がると、救急処置のうち処置という判断が減り(小学校59%、中学校38%、高等学校28%、表略)、内科的問題が増える。記録必要ケースのうち相談ケースと判断されたのは小学校で12%、中学校および高等学校では約20%であった。相談ケースと判断されたものの内、中学3年生(12%)と高校3年生(17%)では進路相談が増える。(表略) 指導・連絡と判断されたものの内、中学校で生活指導ケースが12%と多い。(表略)

## 3) 養護教諭が行った処置・対応(第2報表2-2、第3報表3-2、第4報表4-2)

養護教諭が行った処置・対応としては、処置と保健・安全指導の比率が高いが、校種が上がると処置の比率は減少する。相談・援助は中学校、高等学校では1割を超える。生徒指導は中学校で1割である。相談の必要性を認めながらも実施出来なかったケースは、小学校で358ケース(1.2%)、中学校で1042ケース(3.2%)、高等学校で1054ケース(2.9%)にのぼった。

## 4) 身体的な訴えで来室した児童生徒の内、養護教諭により相談ケースと判断されたもの(表5-2)

身体的な訴え(けがやばなち・気持ち悪い・痛い・苦しい・くすりがかはしい・ねたいやすみたい)で来室した児童生徒のうち、14.2%(小学校8.3%、中学校15.6%、高等学校17.3%)が、相談ケースと判断された。

## 5) 身体的な訴えで来室した児童生徒に対する相談的対応(表5-3)

身体的な訴えで来室した児童生徒のうち3%弱(小学校511/18945)ないし6%(中学校1420/21729、高等学校1545/25577)に対しては、相談をもって対応した。広義(保健・安全指導・受診指導・生徒指導)には、身体的訴えでの来室者の3割から4割に対しては、相談の必要と認められている。相談が必要と思われるが何らかの理由で実施しなかったケースは、小、中、高校でそれぞれ123ケース、400ケース、518ケースであった。なお、中学校、高等学校では大規模校(中学校700人以上、高等学校1300人以上)では、相談の必要性が認められても実施出来なかったケースが増える。(1校あたり中学校:小規模校2.3人、中規模校1.9人、大規模校5.0人、高等学校:小規模校2.7人、中規模校2.8人、大規模校4.2人)(表略)

表5-1 「記録の必要有り」についての養護教諭の判断の内訳

|            | 小学校(%)      | 中学校(%)      | 高等学校(%)     | 合計(%)       |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 救急処置       | 20017(67.8) | 21353(66.0) | 25806(71.9) | 67176(68.7) |
| 相談         | 3547(12.0)  | 6514(20.1)  | 7380(20.6)  | 17441(17.8) |
| 指導・連絡      | 12931(43.8) | 14980(46.3) | 15313(42.7) | 43224(44.2) |
| その他        | 1135(5.7)   | 1700(5.3)   | 1676(4.7)   | 4511(4.6)   |
| 記録の必要有りの件数 | 29541       | 32339       | 35899       | 132352      |

付表:学校規模(児童生徒数)

|      | 小規模校  | 中規模校     | 大規模校   |
|------|-------|----------|--------|
| 小学校  | 400未満 | 400~699  | 700以上  |
| 中学校  | 400未満 | 400~699  | 700以上  |
| 高等学校 | 700未満 | 700~1299 | 1300以上 |

注1:(%)は最下欄の「記録の必要有りの件数」に対する比率である。

注2:同一ケースについて複数の判断が成り立つ場合があるので、合計は100%を超える。

表5-2 身体的な訴えと養護教諭の判断

|             | 養護教諭の判断 |           |         |            |        |            | 合計(%) |            |
|-------------|---------|-----------|---------|------------|--------|------------|-------|------------|
|             | 小学校(%)  | 中学校(%)    | 高等学校(%) | 小学校(%)     | 中学校(%) | 高等学校(%)    |       |            |
| けがやばなち      | 11760   | 499(4.2)  | 8072    | 352(4.4)   | 6893   | 454(6.6)   | 26725 | 1305(4.9)  |
| 来(出血やけが)    |         |           |         |            |        |            |       |            |
| 気持ち悪い       | 6695    | 968(14.5) | 12138   | 2668(22.0) | 14939  | 3185(21.3) | 33772 | 6821(20.2) |
| 室(体調悪い)     |         |           |         |            |        |            |       |            |
| 痛い          | 272     | 45(16.5)  | 915     | 142(15.5)  | 2441   | 423(17.3)  | 3628  | 610(16.8)  |
| 理(くすりがかはしい) | 218     | 62(28.4)  | 604     | 232(38.4)  | 1304   | 370(28.4)  | 2124  | 664(31.2)  |
| 由(ねたいやすみたい) |         |           |         |            |        |            |       |            |
| 由(休養したい)    |         |           |         |            |        |            |       |            |
| 合計          | 18945   | 1574(8.3) | 21729   | 3394(15.6) | 25577  | 4432(17.3) | 66251 | 9400(14.2) |

注3:(%)は来室理由に対して養護教諭が相談と判断した比率である。

表5-3 身体的な訴えで来室した児童生徒に対する処置・対応(記録必要者のみ。延べ数)

|      | 授業   | 処置    | 休養    | 見学  | 早退   | 病院  | 家庭   | 受診   | 保健    | 生徒   | 相談   | 相談   | 連絡   | その他  | 合計(実人数)      |
|------|------|-------|-------|-----|------|-----|------|------|-------|------|------|------|------|------|--------------|
|      |      |       |       |     |      | 移送  | 連絡   | 指導   | 安全    | 指導   | 援助   | 必要   | 打ち   | 他    |              |
| 小学校  | 167  | 8837  | 1984  | 137 | 508  | 96  | 1107 | 481  | 4734  | 130  | 511  | 123  | 431  | 389  | 19635(18945) |
| 中学校  | 960  | 6818  | 3329  | 240 | 1005 | 147 | 895  | 1149 | 5909  | 768  | 1420 | 400  | 641  | 571  | 24252(21729) |
| 高等学校 | 3090 | 6064  | 4849  | 153 | 1073 | 137 | 322  | 1812 | 7683  | 376  | 1545 | 518  | 717  | 831  | 29170(25577) |
| 合計   | 4217 | 21719 | 10162 | 530 | 2586 | 380 | 2324 | 3442 | 18326 | 1274 | 3476 | 1041 | 1789 | 1791 | 73057(66251) |